

平成29年 6月14日

各大学長
各大学工学部長
各大学理学部長 殿
各大学理工学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
加藤 博 雄
(公印省略)

医用生体計測分野准教授の公募について(依頼)

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学安全システム工学領域では、下記要領により医用生体計測分野の准教授を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知くださいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、本学ホームページの教員公募情報

(http://www.hirosaki-u.ac.jp/employment_information.html)にも掲載しております。

記

1. 募集人員 准教授 1名(任期なし)
2. 所属 自然科学系 安全システム工学領域
3. 専任担当 理工学研究科(機械科学科併任)
4. 専門分野 医用生体計測分野
(例えばセンサシステム開発, 画像計測, 医用ロボット等に関連する工学分野)
5. 担当科目
学 部: 人間医工学、創造実習、理工系の数学、機械科学基礎演習、機械科学実験、
機械科学設計、医用科学実験、医用科学設計、科学技術英語、卒業研究など
大学院: 専門分野に関連した科目、研究指導に関連した科目など
教養教育科目: スタディスキル導入科目、自然・科学科目群など
6. 応募資格
(1) 博士の学位を有する方
(2) 大学院博士課程前期・後期課程において教育研究指導ができる方
7. 着任時期 平成29年12月1日以降のできるだけ早い時期
8. 選考方法
(1) 書類選考
(2) 候補者に対する面接(これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献を含む)
9. 提出書類
(1) 履歴書(写真貼付。高等学校卒業以降の学歴、職歴、資格など)
(2) 研究業績リスト(査読付原著論文、全文査読付国際会議プロシーディングス、アブストラクト査読付国際会議プロシーディングス、講演発表(国内/外)、著書(単著/共著)、総説・解説、特許(登録/出願)、招待講演(上記と重複の場合は再掲)、受賞(上記と重複の場合は再掲)、その

他に分けて記載のこと)

- (3) 外部資金獲得状況(外部資金の種類、名称、金額、代表者/分担者の別)
- (4) 主要論文5編以内の別刷り(複写可)
- (5) これまでの主要な教育・研究及び社会貢献の概要(2000字程度)
- (6) 今後の教育・研究及び社会貢献に関する抱負と計画(1000字程度)
- (7) 応募者に関する参考意見を伺える方2名の氏名と連絡先
(氏名、所属、役職、連絡先住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)
- (8) 応募者の連絡先

10. 応募締切り 平成29年9月4日(月)消印有効

11. 書類送付先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ(総務担当)宛

※封筒に「教員応募書類(医用生体計測分野准教授)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学大学院理工学研究科 総務グループ(総務担当)
電話:(0172)39-3503、ファクス:(0172)39-3513、メール: jm3505@hirosaki-u.ac.jp

備考

- (1) 機械科学科には、教育コースとして「知能システムコース」と「医用システムコース」の二つのコースがあり、今回は主に医用システムコースを担当する方を公募します。
- (2) 理工学研究科附属医用システム創造フロンティアの活動にも協力して頂きます。
- (3) 弘前大学では、担当の授業科目が教職認定科目に相当する場合、所属が「自然科学系安全システム工学領域」の他に、「教員養成部門」にも所属することになります。
- (4) 面接の際の旅費は応募者の負担とします。
- (5) 応募書類は原則として返却いたしません。
- (6) 採用後の給与については、弘前大学で規定する年俸制が適用されます。
- (7) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
- (8) 機械科学科ホームページ: <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~dep05/>を参考にしてください。

以上